

特集

災害から命を守るために

いざという時のために日頃から備えをしましょう

自宅や職場がある場所で、津波や大雨、台風等による浸水の危険があるのか、ハザードマップで確認しましょう。危険がある場合は、家族や職場などで安全な場所への避難経路を考えておきましょう。また、被害の想定区域外でも、災害が発生することがありますので、備えることは大切です。

なお、村外の職場や学校に行かれている方は、その地域のハザードマップや避難所を確認しておきましょう。

ハザードマップについて

村では、津波・洪水・高潮の3種類のハザードマップを作成しています。浸水危険がどこにあるか、事前に確認しておきましょう。マップを紛失された方やお持ちでない方は、総務部総務課で配布しています。また、村公式ホームページ上にも掲載していますので、パソコンやスマートフォンでも確認できます。



津波ハザードマップ
青色の表紙が目印



洪水ハザードマップ
緑色の表紙が目印



高潮ハザードマップ
オレンジ色の表紙が目印

防災アプリについて

本年度より、飛島村防災アプリをリリースしました。同報無線の内容を音声や文字で確認する機能や指定避難所・避難所までのルート確認、道路破損など発見した場合、役場に直接報告できる住民レポート機能があります。APP StoreもしくはGoogle Playからダウンロードできますので、日頃の防災への備えとして、ぜひダウンロードしてください。(アプリは無料で利用できますが、通信料は利用者の負担になります)



←案内チラシ

スマホイメージ→



●問合せ先 総務部総務課